

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部長寿介護課		■担当係	高齢福祉係
■評価事業名称	老人クラブ活動費補助金			
■事業開始年度	平成3年度			
■評価事業コード	043100 - 020	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	02 高齢者や障がい者などの自立した生活への支援		
	■施策	02 高齢者が活躍できる場の確保		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称	老人クラブ活動等事業実施要綱(国)、老人クラブ活動等社会活動促進事業補助要綱(県)			
■関連計画の名称	第6次北上市高齢者保健福祉計画			
■事業の目的と概要	自らの教養を高め社会奉仕活動を通じて高齢者の社会活動の充実を図る。老人クラブの活動費の一部を助成			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	老人クラブ活動費補助金	60歳以上高齢者	クラブ数81クラブ(会員数4,231人) 活動内容 友愛訪問活動 282回 清掃奉仕活動 1,047回 地域見守り 2,248回 教養講座開催 491回 スポーツ活動 1,112回 その他の活動 585回	クラブ数76クラブ(会員数3,864人) 活動内容 友愛訪問活動246回 清掃奉仕活動1,045回 地域見守り2,313回 教養講座開催361回 スポーツ活動1,166回 その他の活動 574回

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	2,794	2,582	2,514	2,359	
人件費	2,147	2,160	1,276	1,297	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	4,941	4,742	3,790	3,656	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
	健康、友愛、奉仕に係る事業の実施回数	6,164回	5,483回	5,765回	5,705回	
	参加者数(会員数)	4,718人	4,384人	4,231人	3,864人	

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

孤独に陥りがちな高齢者の生きがいと健康づくりのために、健康活動や、介護予防活動、地域奉仕活動等を積極的に展開している。

問題点・課題等

老人クラブ数、会員数ともに年々減少している。若手会員の加入も少なく、クラブの高齢化も進んでいる。事業への参加者も減少傾向、事業が縮小してきている。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

自らの教養を高め、社会奉仕活動を通じ地域や人とのつながりを深めることで、高齢者の社会活動の充実を図るために、今後も老人クラブ活動支援への継続は必要である。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了